

市民連合からの提案

当面する政治課題に

どう取り組むか？

公文書改竄問題などで大きな批判を浴びてきたにもかかわらず、9月の自民党総裁選にて安倍晋三氏が三選されました。しかし地方票の離反、さらには沖縄県知事選挙で自公維候補がオール沖縄の玉城デニー氏に大敗し、安倍第4次改造内閣のゆくえには早くも暗雲が立ち込めているとも言えます。年末年始にかけての政治情勢はどのような展開を見せるのでしょうか。今後、安倍総理が執念を燃やす憲法改正に向けた動きにアクセルがかかることになるのでしょうか。また、これに對抗する立憲野党と市民の共闘の再構築が直面する課題にはどのようなものがあるのでしょうか。統一地方選や参議院選挙を控えた情勢を展望し、市民社会の取り組みべき課題について考えてみたいと思います。

講師

中野晃一

(上智大学国際教養学部長)

略歴

1970年、東京生まれ。立憲デモクラシーの会や安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合の呼びかけ人。ReDEMOS 理事。

最近の著書

『「改憲」の論点』（集英社新書）
2018/7/13 木村草太、青井未帆。
『嘘に支配される日本』（岩波書店）
2018/7/7 中野晃一、福島みずほ。
『私物化される国家 支配と服従の日本政治』（角川新書）
2018/2/10。
『いま、朝鮮半島は何を問いかけるのか（仮）：民衆の平和と市民の役割・責任』
2018/11/19 内海愛子、中野晃一。

2018年11月17日(土)

14:00 ~ 16:30

上智大学6号館3F304教室

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
 (JR 中央線東京メトロ丸ノ内線・南北線/四ツ谷駅麹町口・赤坂口から徒歩5分)
http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya

【参加費】

1,000円

(学生、障害者・生保者は、500円)

終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。
各自が飲食した分をお支払いいただきます。

【主催】

Begleiten  <https://www.facebook.com/begleiten2>
ベグライテン <http://begleiten.org/>

ミッシュカの森  <https://www.facebook.com/mforest>

【問い合わせ】 関根 090-9146-6667
入江 ANA71805@nifty.com

【共催】 ケアと公共を学ぶ会